



館報 まつかわ

松川町公民館報
第743号
令和7年10月15日

町の川 ⑦ 野岩川

武田信玄狼煙りレー

8月30日(土)



根羽～塩尻(22会場) 所要時間1時間15分

「狼煙^{のろし}」は、火を焚いて煙を発生させ離れた場所に情報を伝達する昔の通信手段です。かつては世界中で使われていたといわれ、昔は狼^{オオカミ}の糞を使って煙を上げていたことから「狼煙」という漢字があります。

狼煙の早さを体感

武田信玄がいた戦国時代は、じつはかなりの「情報戦」が行われていたということです。ので、離れた場所にすぐに連絡をすることは、戦略的に大きな手段だったのです。

「武田信玄狼煙りレー」は、そんな当時の歴史を学ぶとともに、参加する地域同士の交流にもつなげようと毎年開催され、今年で18回目となります。

根羽村で最初の狼煙が上げられ、下伊那、上伊那へと狼煙をリレーします。そしてゴールの塩尻市まで20ヶ所以上で狼煙を上げます。

松川町では、今の台城の形に城を築いたのが武田信玄であることから、毎年、台城を会場に選んで狼煙を上げています。

本来、狼煙はできるだけ早く情報伝達させたいので、遠くに狼煙が見えたらすぐに自分たちの場所でも点火していったと考えられます。しかし、このイベントでは全ての会場を順番につないでいこうと、狼煙を点火する順番を決めています。最初に根羽で点火し、平谷、阿智、泰阜と決められた順にリレーしました。台城では、高森の吉田城山公園の狼煙が見えたら点火することになっています。

午前10時に根羽で点火し、台城で点火したのは10時20分ごろです。根羽から20分で情報を伝達できたことになりました。

す。しかし吉田城山公園よりも前に、台城からは飯田城山公園の狼煙が見えていたため、その時点で点火すればもっと早く情報が伝えられることになりました。そう考えると、武田信玄の本拠地、甲斐の国までは、1時間ほど、あるいはもっと早く情報伝達できたのではないかと、想像を膨らませることができました。

台城に親しむ

狼煙りレーでは、毎年、台城の歴史などを案内する、おいなよ松川のみなさんが紙芝居を披露します。

これまでもオリジナルの紙芝居『台城今昔物語』を披露してきましたが、今回は新作「おじいさんの台城おもいで話」を初披露しました。

台城の歴史ではなく、今の人たちが台城でどんな体験をし、親しんだのか、地域の人たちの実際の体験談を物語にした一作です。



また、参加者同士で綱引きを楽しみました。台城は武田信玄が治めていたころ、織田信長の軍勢に攻められたという歴史にちなんで、武田軍と織田軍に分かれて対戦しました。

結果は1勝1敗の引き分けで仲良く対戦を終えました。台城での狼煙の点火は参加した子どもたちが行いました。

そして狼煙が上がると、古町八幡大神社祭典組のみなさんが笛や太鼓で盛り上げ、台城での狼煙上げを参加者が一体となって楽しんでいました。

月第34回松川町音楽祭 9/14

9月14日、松川町音楽祭が開催されました。町の音楽祭は今回で34回目を迎えた秋の恒例行事で、今年も小学校や中学校、大人の音楽サークルも含めて町内10の団体が参加して盛大に行われました。



筆者はこの音楽祭を観覧させていただいて4回目になります。公民館と参加団体が協力して作り上げるこの手作りの音楽祭にしかない魅力にあふれた素晴らしいイベントで訪れるたびに新たな感動をいただいています。

様々な世代が一堂に会した場ということもあり、小学生、中学生、高校生、大人とステージが上がるたびに技術だけでなく、立ち居振る舞い等



松川JH吹奏楽クラブ



松川吹奏楽団



松川北小学校 金管バンド



松川中央小学校 金管バンド



松川高校吹奏楽部



松川町消防団 喇叭班

すべては書ききれませんが、各団体それぞれ特徴があります。観客のみならずも聞き入って、発表が終わった際には盛大な拍手で応え、会場全員で作りあげる素晴らしい空間がそこに広がっていました。この感動は会場でなければ体験することができません。まだ観覧されたことのない方は、足を運んでみてください！



のパフォーマンスが格段に上達していくのが見て取れます。東海吹奏楽コンクールで銅賞を受賞した松川中学校の吹奏楽クラブの発表では統率のとれた見事な演奏を聴くことができました。一方で、松川高校のメンバーは少人数ながら、観客を楽しませる楽曲構成と高校生自らが行うMCで場を盛り上げました。



爆笑!

お笑いライブ

2025

古町公民館

町民体育館トレーニングルーム 9月20日

日本エレキテル連合

この度は古町公民館が9月20日に主催しました「お笑いライブ2025」に多くの方に参加していただき、また多数の協力を得られ感謝いたします。

これまで古町公民館の社会部事業では、文化祭や旅行、学習会など様々な事業を行ってきました。しかし区民の減少や高齢化などをうけて事業の参加者の減少など今まで通りの活動が困難になるなど、様々な問題に直面していました。

そこで前年度から新しい事業としてお笑いライブを開催しました。地元で短時間、気楽に参加できる新しい試みとなりました。予想より多くの方に参加していただき大盛況となりましたが反省点もありました。古町公民館には椅子

がなく、中央公民館から大量の椅子を借りるのに大変手間取ったこと、同じく音響設備もなく設置が大変なことなどが問題となりました。また区外



客席でダメよ～ダメダメ！

の方からも見たいという意見もありました。

そこで今年は場所を町民体育館トレーニングルームとして規模を拡大し開催することとしました。4月の事業計画にて部員の承諾を得た後、松尾アトム前派出所さんのご協力のもと出演者の決定と打合せ、会場の手配やポスターチケット制作、チケットの販売方法や不測の事態への対処などの話し合いを経て開催となりました。

今回のイベントもより多くの方に来て頂くことができました。来年以降どのような形で継続していけるかはわかりませんが、少ない人員の中でより良い活動ができるよう頑張っていきたいと思います。

(古町公民館 社会部長
井上 信互)

9月20日、古町公民館主催のお笑いライブ2025に行きました。松尾アトム前派出所さんと、昨年の反省点などを考えながらの話し合いがされて、楽しいステージを作りあげてくれました。

松尾アトム前派出所さんは町の芸人さんらしいネタが散りばめられたものなのですが今回は知っている人の名前が！私は仕事柄、農家さんの名前を存じ上げているのですが、何人もネタとして紹介されたのにはビックリでした。最高だったのは、黄色いポルシェです。そんなに笑っちゃいけないと思いますがハハハハハ！



松尾アトム前派出所
農家さんネタ

私の前の席には、3人の少年が嬉しそうにソワソワして座っていたのですが、まん中はお兄ちゃんかな。両側が年下の弟ちゃん。おもしろいネタを聞くとお兄ちゃんを先ず見てニコニコ。次もお兄ちゃんを見てニコニコ。この3人を見たいがためのおもしろいネタを待ってた私は、会場の中で一番しあわせだったと思います。

人権問題を考える みんなで仲良く

松川中学校

1学年の道徳の学習は、タブレットを用いて振り返りを行っています。

今回は「人権問題を考える【みんなで仲良く】」について考えました。学習を通しての考えは以下の通りです。

- ・自分で決めるときに大切なことは、自分の意思を尊重したり、他の人の気持ちを考えたり、自分の決断に責任を持つことだと思いました。
- ・先輩たちとの礼儀をちゃんとしたほうがいいんだなと思った。
- ・思い込みは、よくないなと思いました。思いやりで人を傷つけることがあるんだとびっくりしました。
- ・自分で決める事はよく話し合っただけで決めるのが自分にとっての決めることだと思った。
- ・自分の考えをもって相手の考えも聞いてみんなが納得できるように決めることが大切だと思いました。
- ・結果的に自分で何かを決めるときに一番大切なことは「自分で決める」ことだと思う。とても抽象的でそのままだけれど、人の意見に流されずに自分のやりたいことを、自分に聞く（考える）

ことが一番大事だと思った。

やっぱり最終的に決めるのは自分だけだ人の意見をするのみにするんじゃないかって自分の意見と人の意見をしっかり比べてから決めたほうがいいと思いました。

「自分だったら」を意識して考えることが大切。

「仲良く」という言葉に隠された、人権問題の複雑さを感じた。

表面的な「仲良し」が、差別の温床になる危険性を考えさせられた。

「みんなで仲良く」が、多数派に合わせた同調圧力になりうると気づいた。

人権問題は「仲良し」とは別の次元で、個人の尊厳を守るものだ。

「みんなで「仲良く」って言っても、本当は仲良くできない人がいる。その人の人権はどうなるんだろう。

人権って、仲良しじゃなくても、みんなが持っているものなんだと気づいた。

「仲良く」が、違う意見を持つ人を仲間外れにする原因になりそう。

人権が守られていないと、本当の意味で「仲良く」なんてできないと思う。

資料館だより

戦後80年企画展

『戦争の時代を生きた人々』③

『平和の木』

資料館では、戦後80年の企画展として「戦争の時代を生きた人々」後世に何をつたえるか」の展示を7月～9月にかけて行いました。展示の一角に「平和の木」という名でみなさんに「戦後80年に関すること」についてのメッセージを書いていただきました。今回はその中から一部を紹介したいと思います。

「戦時中の話を聞く機会もなく育ってきました。遠い昔の話と感じがちですが、たった80年前、日本中の誰もが辛く苦しい時代を生きていたのだと考えると胸が詰まる思いがします。私が今幸せに豊かに生きているのはたまたま良い時代に生まれただけ。平和を守っていくための努力をしなければと思います。」

「ここに展示されている資料は貴重な物ばかり。実際戦争を体験された方々の当時の様子を少しではあります。特に関心がある内容を見ると幼くして国のために働く姿を知ることができ大変さをも伝

わってきました。生々しいものを見て改めて平和とはいかに幸せかと感じました。」

「私たちの今の生活は、多くの尊い犠牲の上にあることを改めて感じました。平和を唱える事は当然大切ですが、まず隣近所とのつながりを大切にしたいと思います。」

「戦後80年、昭和元年から100年。これまでの日本のこと『戦争』という悲しいこと、しっかりと見せていただき、今私たちは何をすべきか改めて考えさせられました。」

「有線放送、懐かしく聞かせていただきました。生々しい体験、身にしみえます。子ども達にも聞いて欲しいです。」

「改めて色々考えさせられました。日本の『平和』『経済』は発展途上の国に支えられて成り立っているという事実があると考えています。どうしたら戦争がなくなるのか、みんなで考えていきたいですね。」

「先日テレビで中高生に『先の戦争にどのくらい興味・関心がありますか』というア

ンケート結果が報道されました。『関心がある』と答えていた生徒が67%くらいでした。67%って多くないですか？若い中高生がそんな関心があるのに私たち大人はどうでしょう。考えさせられます。」

「NO MORE WAR、NO MORE 広島、NOMORE長崎、世界平和 未来の子ども達につなげよう！」

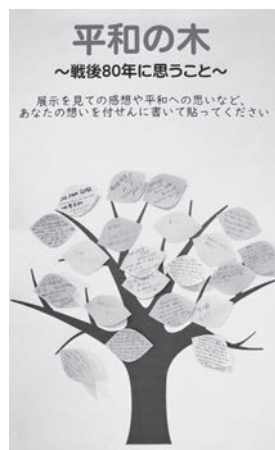
「戦争で多くの人が亡くなってしまうのはとても悲しいことです。戦争などがなく平和な世界であって欲しい。命の大切さをもっと考えていこうと思いました。」

「この展示を見て今は亡き父の事を思い出しました。10年あまり様々な部隊に配属され、満州そしてソ連に抑留され強制労働に従事し、終戦2年後の昭和22年に復員しました。総ての国民が苦しい悲しい思いをした戦争、二度とあってはならないと思いつつ、今こうして幸せに暮らせることに感謝です。貴重な展示ありがとうございます。」

「今の日本は『平和』だとは思いますが、この『平和』を守るためにも戦争の真実をしっかり知って語り継いで行きたいと思いました。」

戦後80年、平和のために自分たちができることをしていきたいですね。

（松川町資料館 中島裕治）



男女共同参画 企画

松川町パープルライトアップ

【今年もやります！】

町では男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます。新たな試みとして始めた、パープルライトアップを今年も実施します。これは、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」と連動したもので、本運動の周知を図り、あわせて、町の男女共同参画事業への取り組みを行います。



点灯式：11月12日(水)19:00～

【週間連動講座を開催】

「モラルハラスメントの事例と対策
～弁護士から学ぶ

離婚事例と戦い方～」

パープルリボンセミナー

講師：堀井 亜生さん

11月22日(土曜日)13:30～

えみりあ 2F学習室1(サテライト会場)

申し込み不要・どなたでもお越し頂けます。



一連の企画に対するお問合せは
中央公民館36-2622まで

アカモズを見に行こう！

アカモズ のんほいパーク見学ツアー

日 時：11月15日(土) 7時出発 18時帰町予定

行 先：豊橋市 のんほいパーク

(豊橋総合動植物公園)

入園料が無料となります。

昼食代は各自負担です。

定 員：20名

申 込：松川町中央公民館(36-2622)まで



アカモズ状況報告会

日 時：12月13日(土)

13:30～

内 容：令和7年度の状況・成果報告

令和8年度の予定

場 所：松川町中央公民館

お問い合わせ：松川町中央公民館(36-2622)

ツツザキヤマジノギク 観察会

日 時：11月8日(土) 8:00～

(雨天時は翌日に延期)

内 容：花の観察会

場 所：天竜川河川敷

お問い合わせ：教育委員会事務局生涯学習係(36-2622)

どなたでも参加できます。雨天等による延期・中止の際は以下のWebページにて前日正午までにお知らせいたします。



(町Webサイト)



暮らしの知識を学ぶ講座

日 時：11月12日(水) 18:30～

内 容：ベトナム料理教室

(バインミー、生春巻き、揚げ春巻き、チー)
(予定)

講 師：ファム・ディン・クインさん

グエン・ティ・ダオさん

(ミンチョウ ベトナム料理(駒ヶ根市))

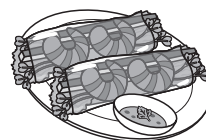
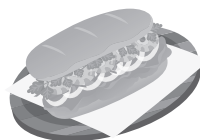
場 所：中央公民館

材料費：1,300円

持ち物：エプロン、三角巾、水分補給

定 員：16名

申 込：松川町中央公民館(36-2622)まで



訂正のお知らせ

7面 「ひと」 消しゴムハンコの写真キャプション
誤：「2つのハンコからできたフラメンコ」



正：「2つのハンコからできたフラミンゴ」



長野県公民館功労者表彰

元中央公民館社会部 清水 一貴さん



賞しました。

社会部にいた先輩に誘われて部員となった清水さん。年齢差のある先輩・後輩たちと出会い、交友関係が広がったことがよかったといえます。

社会部は、おもに人形劇場や松川町音楽祭、月に1度のあいさつ運動などを行なっています。

今年の3月まで10年に渡り中央公民館社会部で活躍された、清水一貴さん。長い間の公民館活動が讃えられ今年の長野県公民館功労者表彰を受

すぽっと 人形劇 が やってきた!

毎日続く、熱中症になりかねない暑さ。濡れるのはイヤだけど、少し過ぎしやすい雨が降った8月10日。夏休みの人形劇場が開かれました。

松川町を訪れてくれた人形劇団は、トロッコさん。10年くらい前にも取材原稿を書いた記憶が。MC風の若い男性が説明してくれる演目は、身近にあるチョットとした物を使って、その場で演劇が始まるそう。緑の豚や黄のうさぎは、スポンジで。白いタオルからは白ヤギが。腹話術の犬わんぺえくんも大活躍しました。



が、今回の主役は、お腹が空いて緑の草いっぱい山のめざす大中小の大きさの白ヤギガラガラドン。3匹が力を合わせて怖いものやつつけながら進んで行く姿が感動的です。これらのキャラクターはトランクの中から飛び出てくるので、次は何が出るのか楽しみです。雨にもかかわらず会場を訪れた150名余りの皆さんは、最後まで楽しめました。



松川中央小学校

原 穂華

今日、弟の8才のたんじょう日をしました。ごはんの前に私からのたんじょう日プレゼントをわたしました。でも私は、そんな簡単にわたしません。なぞなぞを出して、その答えの場所にプレゼントがある。というふうにしてみました。「そうがいつも使っている物ってなんだろう?」みんな苦戦していましたが、ばあばが、「れいれいそうこー!」とあててくれました。れいれいそうこの中にプレゼントをかくしておいたので、みんな「いつの間にか!」とおどろいていました。弟は、すぐ見つけてさうそく開けてました。私は、しごとヒーローアカデミアのキーホルダーをあけました。とうてもよろこんでくれてよかったです。また、家のたんじょう日を盛り上げたいです!

中平 悠希

夕方、松川中学校のグラウンドで、名子地区のお祭りがありました。ほくは、家族4人と行きました。1番楽しかったのは射的です。ねらったものを当てられたとき、うれしくて何度もやりたくなります。食べ物の中ではフルーツポンチがおいしかったです。またお祭りにいきたいです。

高橋 佳希

今日、いとこと、お父さんとほくて、フォレストアドベンチャー松川に行きました。フォレストアドベンチャーに行つたのは2回目、なれていました。昨年は、レベル9までクリアしたので、今年はレベル10をクリアしたかったです。時間がなくてできませんでした。来年こそはレベル10をクリアしたいです。

正木 颯真

夕方、市場の森でおしゃべり会がありました。お母さんたちが話している間、友達と近くの小川にカニやドジョウをつかまえに行きました。最初は見つからなかったけど、さがすはいいを広くしたり、ライトやあみの数を増やしたりしたら、たくさんカニがとれるようになりました。だけど、ドジョウはライトを増やしてもつかまえられませんでした。そこで友達が「ドジョウのまわりをかこめばいいんじゃない。」と言つたので、その作戦を試してみたら本当にドジョウが取れてすごかったです。あと、ドジョウをとったときに友達が「ドジョウとつたどー!」とよろこんでいました。夜の市場は、いつもとちがつてふんいきがあつて楽しかったです。

名子地区公民館

夏祭り盆踊り大会

名子地区公民館

体育部長 岡村 伸太

昨年は6年ぶりに開催という事でほとんどの地区館メンバーは未経験でした。そんな中でも無事に開催でき、打ち上げ花火もあげられたことで達成感もあれば感動も大きかったです。それを経験した中で今回はさらに盛り上げたという思いが強く準備に取り掛かりました。

名子地区館としても一大イベントになりますので、前準備は想像をはるかに超えるくらい大変なものでした。何度もその重圧やプレッシャーに押し潰されそうな日もありました。各団体や関係者の方々と協議を重ね準備を進めながら少しずつ形になっていくのを感じるとワクワクしてきたのも事実です。

8月1日に盆踊りの練習を行いました。上大島地区の公民館部員と一緒に合同で練習をする経験も今回初めての取り組みでした。8月15日のお祭りは同日開催で会場は違えど同じ町民として一心同体になれたことはうれしかったです。



また二十歳の集いの実行委員にも声掛けさせてもらって、祭りに参加して欲しいとお願ひしたのも新たな取り組みでした。式典がえみりあで行われた後、実際に会場へ訪れてくれた方も数名見かけましたし、来場者全員で二十歳の方々へお祝いが出来たらと考えていたのですが、予定していた内容とは少し異なりましたが、企画性もあって良いことが出来たと思っています。打上げ花火は昨年よりグレードアップした形で最後のスターマインにも魅了され大変感動しました。多くの企業から協賛金を頂戴する事ができ、団体や個人

の方からもご寄付を頂けたことで実現できたと思っています。

祭り当日は季節柄・時期的なこともあり、天気は雨が心配されましたが、今まで準備してきた思いやこの熱量が天に届いたと思いうくらい、直前で雨マークがなくなり、終始、恵まれた天気で会場も大盛り上がり。大盛況に終わることが出来て何よりホッとしています。

100名を超える子どもたちも参加し、「わつしよい！わつしよい！」と声をあげて楽しそうに神輿を担ぐ姿にも感動しましたし、名子支会さんや地区館の出店もかなりの量を準備しましたが全て完売！スクーターズさんのバンド演奏も会場を大いに盛り上げてくれて最高の演奏でした。

メインの盆踊りは夏の風物詩でもありますし、曲が流れ出すと年配の方から小さなお子さん、男女問わず幅広い層で、楽しく踊っている姿が今でも目に焼き付いています。

これは人づてに聞いた話ですが、「松川OnDo」を踊るためにわざわざ帰省され、祭りに参加された方がいらっしやうと聞きました。地元



愛を感じましたし、運営側として開催してよかったと心から思えました。

夏祭り盆踊り大会そのものは、わずか数時間のイベントではありますが、多くの方々に支えられ、見守られ、最高の時間を過ごすことが出来ました。準備・本番・片付けに至るまで関わっていただいた方々に心から感謝を申し上げます。また、ご来場者やスタッフ関係皆様の夏の思い出になったのであれば大変幸いです。この経験をまた来年に繋げて皆様にも少しでも満足していただけるよう地区公民館として邁進していきたいと思っています。



地震・雷・火事・親父、昭和生まれの私にはなじみ深い怖い物の代名詞ですが、最近

はこれに豪雨と突風も加わってどんどん怖い物が増えていく気がしている今日この頃。ラジオやテレビで災害時の備蓄は個人で3日から1週間分を用意しておくと言われ、見たりした後は防災用品も含めて準備しておいたほうが良いのかな？と思うのですが実際に行動に移しているかと言われると：せいぜい子どものおむつを1パック多く買っておく程度。非常持ち出し袋も用意していない体たらくです。

今はどんなものが実際の災害の際に必要なだったか、等の情報も昔に比べれば簡単に手に入るようになりましたし無理のない範囲で少しずつ考えてみようかと思っています。

(大久保康司)

公民館報

「まつかわ」

第743号

令和7年10月15日

発行所 松川町公民館

責任者 山崎 隆

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: ckouminkan@town.matsukawa.lg.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。